

蓬田岳と五色沼 山行報告

【山 域】 蓬田岳 952m (阿武隈山地)、五色沼 (裏磐梯)

【日程, 天候】 2月17日: 蓬田岳 (晴れ→吹雪→曇り) 2月18日: 五色沼 (晴れ→曇り)

【参加者】 CL 柘植、SL 村尾、SL 鈴木憲、鶴田、斉藤一、飯田、藺田、澤田路、松本か
小侯、上荒磯、井上里、清野、鈴木愛、加藤 (記録)

【報 告】

2/17 蓬田岳 ジュピアランドひらた駐車場 9:00→蓬田新田登山口→蓬田岳山頂→糠塚登山口
→養豚場→送電線下のルート→駐車場 13:00



黒点ルートを時計回りに歩いた

駐車場で出発前の記念写真

本来は初日も裏磐梯でスノーハイクの予定であったが、現地の天気予報が悪いため、予報のよい阿武隈山地に変更した。蓬田岳は郡山の南東にあり、山麓には芝桜で有名なジュピアランドひらたの広大な駐車場がある。小雪が舞ったがすぐ止み、青空の暖かな春山日和のもと総勢 15 名で出発する。



元気に歩き始める



前方に蓬田岳

登山口には雪はなく、鳥居をくぐり小川を渡ると両側に杉並木が並ぶ登山道を進む。日陰には溶けた雪が凍っているが、軽アイゼンを付けたのはかなり上まで登ってからである。稜線に差し掛かると強風が吹きつけていた。山頂直下の大きな祠の前で大休止、背後に剣がそびえ立っていた。晴れていれば展望が良さそうな大岩の前で記念撮影をしていると黒雲が接近し小雪が降り始めた。北側の下山道には雪が深く積もり 20cm はある。探検ルートを右に分けてトレースのある雑木林に入って行く。



山頂直下の大きな祠



蓬田岳山頂



下山が一番右の一般コース



結構な奇岩怪石がある



岩を巻きながら進む



岩場地帯が終わると植林の中へ

大きな奇岩が稜線にある「岩コース」でなく岩の基部を巻くコースを下ったが、またたく間に吹雪模様となった。糠塚登山口に下山すると雪は止み、林を抜けて視界が広がった。養豚場前から分岐を右に入り送電線の下を辿る小道に入った。道標はないがきれいに刈り払われている。蓬田岳の中腹を横切って一列に並んだ鉄塔を追っていくようなコースで展望が良いがアップダウンがかなりある。やがて最後の急登の鉄塔を越えると駐車場である。登り始めと違って気温が下がり強風で寒い。下山後は蓬田岳の山容を一望できる道の駅「ひらた」に立ち寄った。

宿泊地の裏磐梯に向かうがあいにくの天候のため会津磐梯山は姿を見せなかった。今宵の宿は裏磐梯の「リゾートイン四季」である。風呂から出るとテレビで羽生が金、宇野が銀メダルをとったことを報じており、みんなで歓声をあげる。夜は馬刺しもある豪華な食事を味わった。



送電線下の長い帰り道



ようやくジュピアランドひらたの駐車場へ



楽しい夕食



豪華な夕食メニュー

2/18 五色沼周辺スノーハイク ビジターセンター前（東側）10:00→五色沼散策コース（西側）13:00



一旦グランデコに行くがゴンドラ故障



五色沼ハイキングコース（赤線を歩く）

本日の予定は吾妻連峰の西大巔 1982m である。山麓のグランデコススキー場からゴンドラで中腹まで行って歩き始める予定であったが、ゴンドラ故障のため運休中とわかり西大巔登山を中止した。裏磐梯ビジターセンターまで戻ることとなったが曲がりくねった雪道と 3m 近い雪壁、地吹雪で降り積もった雪が強風で吹き上げられ一瞬真っ白になるのでかなり怖い。車 2 台反対側に置いてくる間、ビジターセンターの展示を見て待つ。夏は散策路となる五色沼のコースは冬も人気があり、明瞭なトレースがあった。最初の池である鏡沙門沼は半分凍結していたが太陽に照らされて水面が輝いていた。全般的に平坦なコースであったが弁天沼付近でトレースが消えた。観光客はビジターセンターからの往復のみで向こう側に行かないようだが、私たちは GPS を使って進むことができた。るり沼付近で再び明瞭

なトレースが現れ反対側にたどり着いた。



ビジターセンターから出発



ものすごい積雪



このあたり塹壕のようなトレースを進む



天気もよくテンションアップ



凍った沼



凍ってない沼



ラッセルをこなして反対側のトレースに合流



西側ゴールの物産館のすごい積雪

裏磐梯には日帰り入浴施設がないため物産館にて解散となり、そのまま帰葉した。私たちは道の駅「猪

苗代」に立ち寄ったが地吹雪で視界がきかず最初入り口がわからなかった。

今回は悪天候のため計画していた山には登れなかったが、15名で民宿に泊まり豪華な食事を味わうことができ楽しいひと時を過ごすことができた。また、蓬田岳は里山でもあり気楽な気持ちで登り始めたが、出発時穏やかな晴天であっても天候急変に備えて雨具を携行することが大切だと思った。今回出発前の空模様から判断して雨具を車に置いてきた人がいたが、途中から吹雪となり雨具がなく大変だった。幸い予備の雨具を持参した方が貸してくれたので事なきを得た。

記録：加藤洋子